

## 事業計画書

団 体 名	特定非営利活動法人エンパワセツルメント
事 業 名 称	自由な外出が困難な人の目的地付添を含む外出支援事業
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 2022年4月1日～2023年3月31日
1. 目的	<p>(事業の目的を記載すること。また、どのような問題を解決するために実施しているかについても、記載すること)</p> <p><b>課題</b> (ひとりで外出するのが難しい人の存在)</p> <p>①認定されている高齢者や障害者(介護保険制度等を利用できる人) 例えば通院介助等を利用した場合、その途中でコンビニへ寄りたい、花見に行きたい、買物に行きたい、これらは制度等で対応できないので、その人の自由な外出は実現しない。又、制度中の通院等乗降介助・通院介助等があるが多くの場合その制度自体が現実問題として利用できない現状がある。(サービス提供側の人員不足、提供側が特異事例に対応できていない、介護保険に計上できない部分を自費対応にするために高額になるため一部の高額所得者しか利用できない等)</p> <p>②認定されていない高齢者や障害者(介護保険制度等を利用できない人) そもそも上記制度の利用が出来ず、コンビニ等の自由な外出希望だけでなく、通院等の重要な用事の為の外出でさえ実現しない。</p> <p>③外出を支援してくれる家族資源を持たない高齢者や障害者(児) 上記①②を満たさない人、かつ、徒歩、公共交通、自動車その他により外出付添などを支援してくれる家族等が居ない場合、その人の全ての理由の外出は実現しない。</p> <p><b>問題</b> (外出できないと発生しうる問題) 自由な外出が実現できないと、買物や銀行へ行けず日常生活の自立が阻害され、病院等通院が出来ないと健康を維持できず、花見や喫茶店や図書館その他への外出を実現できないと、社会参画ができなくなり、その人は社会で孤立し、健康で文化的な生活を得られなくなる。又、目的地での付添(手伝その他)が無いと、目的を完遂できない可能性がある。。</p> <p><b>解決</b> (目的) 上記理由等で外出が困難な人の外出と外出先での用事を支援する。</p>
2. 事業内容等	<p>【①対象者】 項目「1.目的」欄に示した外出困難者</p> <p>【②実施場所】 枚方市内及び極近隣</p> <p>【③事業内容】 障害等要介護状態にない(制度を使えない)人及び、障害等要介護状態にある(制度を使える)が制度の範疇ではない用途、どちらにせよ事実上の支援のない領域、(例=近所のコンビニへ行く、友人と喫茶店で待ち合わせる、その他いろいろ)等を支援する。</p>

<p>3. 実施スケジュール</p>	<p>4月 人材用意、自動車用意。  5月 インターネット及び介護事業所等既存交流者による周知  6月 事業提供開始  3月 事業終了</p>
<p>4. 事業実施の体制</p>	<p>(事業を実施する際の人員体制や、賛同者からの協力について記載すること。)</p> <p><b>事業周知</b>(利用者募集と支援者準備)  ○利用者 弊会会員や既存交流介護事業所等から以前より紹介されている人(3人)  ○提供者 弊会会員の既存支援提供者の中より(3人)</p> <p><b>提供体制</b>  既存会員(現状は無償ボランティア)を有償ボランティアとして体制整備を進め、支援提供を確実化する。</p> <p><b>有償化</b>  1時間3千円の利用料を設定する。(うち千円/有償ボランティア報酬 /2千円を経費)</p> <p><b>収支</b> (初年度は10ヶ月で計算)</p> <p>(1)収益  利用料:240千円  (利用料:3千円×2時間(1回あたりの平均利用時間)×40回)</p> <p>(2)費用  ① 業務用自動車にかかる費用:494千円  (自動車リース/240千円、駐車場代168千円、任意保険60千円、燃料12千円、車庫証明料14千円)  ② 人件費:80千円  (有償ボランティア報酬:1千円×2時間/1回あたりの平均利用時間×40)</p> <p style="text-align: right;">①+②=574千円  収支=-334千円</p> <p>※翌年度以降予測(利用者が増加し72回実施を見込む)</p> <p>(1)収益  延べ利用者72人×平均利用時間4H=864千円</p> <p>(2)費用  自動車リース/240千円、駐車場代168千円、保険代60千円、燃料代21.6千円、人件費288千円=777.6千円、  収支-費用=+86.4千円</p>
<p>5. 自立的・継続的に活動していくための工夫</p>	<p>ボランティア精神を維持しつつ、有効な人件費の設定と、法人自動車用意で、支援(者)を安定確保する。</p>

<p>6. 申請事業に関して、これまで取り組んだ内容及び新たな取り組み</p>	<p>2020年度同基金にて福祉有償運送事業を発展させ、今回事業と同じく外出困難者の支援を拡充させようとしたが、迅速確実な支援提供に繋げ難かった。その主たる要因の二つとして、一つはコロナ影響、一つはボランティアの限界である。外出困難者は変わらず存在しており、又、その中で支払能力を有する被支援者の存在も見えてきた。さらに、有給かつ法人所有車なら取り組めるとのボランティア側意見も多くあったので、そのような取り組みへ転換する。</p>												
<p>7. 今後の取り組み予定</p>	<p>(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記載すること。)</p> <p>支援を有償とし財源を確保する。車を法人所有車としボランティアを有償とする。ボランティア確保=供給力安定により利用者信用を得て、安定した事業運営とする。制度外の支援の存在を、市民、市民団体、企業、行政等へ周知し、制度の隙間のニーズを満たせる団体として定着させる。</p>												
<p>8. 事業のPR方法</p>	<p>交流のある介護支援事業者、訪問看護事業者等からの紹介に加えて、各事業所や地域包括支援センターなどへの訪問。これらの訪問先は移動困難者の実態を把握していると予測できるので、詳しいパンフレット等は作成せず、連絡先や料金が掲載された程度の簡単な文書と、口頭による説明とする。</p>												
<p>9. 申請事業に対する助成金や委託料の有無等</p>	<table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>助成金等の有無</td> <td>有</td> <td>・</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>助成金等の名称( )</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>内 容 ( )</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>	助成金等の有無	有	・	無	助成金等の名称( )				内 容 ( )			
助成金等の有無	有	・	無										
助成金等の名称( )													
内 容 ( )													

利用者のべ61名(月5.1回/4時間)以上でプラスになります。  
 ※固定費は初年度のみ必要な車庫証明代を含めず。

10.そ の 他

※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など

40	320000	12000	480000	160000	468000
41	328000	12300	480300	152300	468000
42	336000	12600	480600	144600	468000
43	344000	12900	480900	136900	468000
44	352000	13200	481200	129200	468000
45	360000	13500	481500	121500	468000
46	368000	13800	481800	113800	468000
47	376000	14100	482100	106100	468000
48	384000	14400	482400	98400	468000
49	392000	14700	482700	90700	468000
50	400000	15000	483000	83000	468000
51	408000	15300	483300	75300	468000
52	416000	15600	483600	67600	468000
53	424000	15900	483900	59900	468000
54	432000	16200	484200	52200	468000
55	440000	16500	484500	44500	468000
56	448000	16800	484800	36800	468000
57	456000	17100	485100	29100	468000
58	464000	17400	485400	21400	468000
59	472000	17700	485700	13700	468000
60	480000	18000	486000	6000	468000
<b>61</b>	<b>488000</b>	<b>18300</b>	<b>486300</b>	<b>-1700</b>	<b>468000</b>
62	496000	18600	486600	-9400	468000
63	504000	18900	486900	-17100	468000
64	512000	19200	487200	-24800	468000
65	520000	19500	487500	-32500	468000
66	528000	19800	487800	-40200	468000
67	536000	20100	488100	-47900	468000
68	544000	20400	488400	-55600	468000
69	552000	20700	488700	-63300	468000
70	560000	21000	489000	-71000	468000
71	568000	21300	489300	-78700	468000
72	576000	21600	489600	-86400	468000
のべ人数	収益(-人件費)	燃料/人数×300	燃料+固定費	収益(±逆)	固定費

事業収支予算書

団体名: 特定非営利活動法人エンパワセツルメント

補助対象事業の名称:	自由な外出が困難な人の目的地付添を含む外出支援事業
------------	---------------------------

事業実施期間: 2022年4月~2023年3月

【収入の部】

(単位:円)

項目※1	予算額	内容説明(積算根拠等)
枚方市補助金(一般寄附) (A)	282,000	補助金交付申請額(一般寄附)
枚方市補助金(団体希望寄附) (B)	10,000	補助金交付申請額(団体希望寄附)
自己資金(支援提供費)	240,000	事業計画書内「4.事業実施の体制/収支/(2)収益」
自己資金	53,605	
合計 (C)	585,605	

【支出の部】

(単位:円)

項目	予算額	内容説明(積算根拠等)	
補助対象経費	自動車リース代	220,000	20000×11ヶ月
	人件費	80,000	事業計画書内「4.事業実施の体制/[提供体制][有償化]」
	駐車場代	165,000	15000×11
	保険代	69,955	2022年5月20日~翌年3月31日間の任意保険加入費用 (加入先: あいおいニッセイ同和損保株式会社)
	車庫証明の必要書類発行料	15,000	保管場所使用承諾証明書の発行手数料
	燃料代	24,045	単価170円(1L)×11か月分
小計 (E)	574,000		
補助対象外経費	手数料	500	保管場所標章交付料
	保険代	11105	対象外期間の任意保険加入費用(1年間の契約であるため)
小計	11,605		
合計 (D)	585,605		

※1: 事業に係る収入はすべて記入してください。

※2: 収入の合計(C)=支出の合計(D)となるように記入してください。

枚方市補助金(一般寄附)(A)は補助対象事業費(E)から枚方市補助金(団体希望寄附)(B)を差し引いた金額の1/2以内(千円未満切り捨て)として下さい。